

第222号

令和5年8月3日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎0241-54-5341

金山町議会だより

〔6月定例会 会期6月16日～20日〕

- ・補正予算議案審議・人事……………2
- ・議案等審議結果一覧・お知らせ……3
- ・一般質問 7人が登壇……………4～10
- ・友好都市鴻巣市、羽生市訪問……………11
- ・議員管外視察、議員活動報告…12～13



里の里
ねやま

えちごトキめき鉄道(本社・新潟県上越市)リゾート
「雪月花」JR只見線初運行
6月18日:JR会津川口駅

雪月花

6月定例会

6月定例会は、6月16日から20日にかけて開催され、電力・ガス・食料品等価格高騰に対する住民税非課税世帯特別給付金を含む一般会計補正予算など6議案、報告3件、議員提出議案1件が提案され、原案の通り可決されました。

一般質問は、7人の議員により行われました。

●補正予算（議案審議）

一般会計・歳入

繰入金の各基金の活用方針は

繰入金の財政調整基金、ふるさと納税基金、公共施設整備基金の残高は。

総務課長 令和4年度末残高で財政調整基金は13億6,288万円、ふるさと納税基金は1,052万円、公共施設整備基金は7億4,238万円と捉えています。基金の活用方針、今

後の方針についてお聞かせください。

総務課長 財政調整基金、公共施設整備基金は財政補填的な基金としての位置付けで、いかにどう活用するかという方針等は特にありません。なお、公共施設基金については、適切に公共施設が維持できるような有効に活用を図りたいと考えています。

財政調整基金残高13億円。有効活用を。この基金を使い産業の底上げ、町民の所得向上に寄与す

る活用を考えるべきでは。総務課長 議論しながら町民の福祉の向上に繋がるような事業を実施していくことになります。

一般会計・歳出

非課税世帯等臨時特別給付金について

電力・ガス・食料品等価格高騰支援で、今回は非課税世帯等への給付ですが、全世帯数と非課税世帯は。

保健福祉課長 6月1日現在で全世帯数999世帯、非課税世帯分として500世帯、その他の世帯は499世帯と把握しています。

電気料金が6月から25%値上げされた。子育て世帯や働いている世帯も電気代がかかります。

過去にコロナ禍でエアコンの設置補助も町でしています。熱中症対策を含め、非課税世帯以外の世帯への給付の考えはないのか。

副町長 なるべく早

い時期に臨時会を開催し他の世帯の対策も考えたかと考えています。

地域の魅力向上 応援事業について

採択予定の3件の事業名称と事業概要は。

企画課長

「霧幻峡の景観整備とPR事業」で景観整備とPRのためのタオル作成など。

「玉梨里地再生事業」で旧玉梨小学校跡地周辺の環境美化、会の活動PR、桜の苗木購入など。

「野尻川やな保存事業」でアユのやな漁の伝承・事業継承のための資料購入などの事業となります。



現在、野尻川で唯一のやな場(玉梨)

6月定例会(第5回)一般会計補正予算で可決された事業

(電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金充当：国庫補助金1,613万円)

事業名	事業内容	事業費(万円)
金山町住民税非課税世帯給付金(国庫補助事業)	電力・ガス・食料品等価格高騰に対する支援 対象世帯・町に住所を有するもの・住民税非課税世帯 支給額 1世帯当たり3万円支給。 問合せ先：保健福祉課福祉係	1,613

人事

◆金山町農業委員

6月定例会で、農業委員の任命に同意しました。

三瓶 浩一 (大塩 64歳)	菅家 国男 (滝沢 67歳)	稲垣 花恵 (玉梨 44歳)	栗城 元一 (上横田 76歳)	五ノ井 隆 (小栗山 59歳)	星光 雄 (上田 75歳)	渡部 真明 (横田 73歳)	横田 敏宏 (越川 72歳)	中丸 守 (大志 73歳)	小林 和衛 (本名 62歳)	西脇 優 (下大牧 45歳)	若林 秀喜 (沼沢 66歳)
-------------------	-------------------	-------------------	--------------------	--------------------	------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------

任期は7月20日から3年間です。

■議案等審議結果一覧（一部を掲載しました。全議案全員賛成でした。）

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）
※賛成「○」 反対「×」

件名	議決結果	安藤雅朗	坂内譲	加藤夕子	栗城康太郎	横田正敏	奥高伸	黒川廣志	五ノ井義一	
■第5回定例会（6月定例会） 令和5年6月16日～20日開催										
令和5度金山町一般会計補正予算(第1号) (電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金、デジタル実装タイプ補助金などの補正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決には加わりません	
契約締結に関する議決について (川口上ノ在池定住促進住宅棟新築工事： 木造2階建て1棟5世帯(単身用))	可決	○	○	○	○	○	○	○		
金山町農業委員の任命に関する同意について	同意	無記名投票により採決 (賛成7票・反対0票)								
■陳情										
国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○		
■議員提出議案										
国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○		

議会会議録・一般質問動画（録画） 町公式ホームページ掲載のお知らせ

金山町議会では、「開かれた議会」「身近な議会」を目指した議会改革の中で、議会会議録の町公式ホームページへ掲載の他に、6月定例会より本会議での議員の一般質問の動画配信（録画）をはじめました。是非、ご覧ください。

議会会議録について

議会だよりでは一般質問について紙面の都合によりすべてを掲載できません。
ホームページには全文記載されていますので是非、ご覧ください。

（金山町ホームページ画面）

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会会議録](#)

[令和5年議会会議録](#)

一般質問の動画配信（録画）について

各議員（質問者）ごとに動画を見ることができます。一般質問の時間は50分です。
本会議での質問、答弁をそのまま配信しています。是非、ご覧ください。

（金山町ホームページ画面）

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会動画配信](#)

[令和5年一般質問](#)



空き家古民家を再生し宿泊施設へ
地区民出資の法人で事業開始（玉梨地内）
空き家利活用の取組みとして注目される

栗城康太郎議員の 一般質問



交流人口拡大のための受け入れ体制を早急に充実させよ

宿泊業起業者を支援する――町長

金山町第五次総合計画

に、JR只見線の再開通を好機と捉え、観光路線として積極的に活用するため、県、沿線町村との連携を密にし、積極的な情報発信、町内観光ルート

の確立など只見線を核とした観光振興、町の活性化を図るとされています。これらの実現には、交流人口の受け入れ体制の充実も急ぐ必要があると思います。

問① 交流人口拡大を町の経済振興に繋げるには、どのような施策が必要だと考えますか。

答 町長 訪れた人が町内で消費する、いわゆるお金を使ってもらえることが大事であると考えます。その消費行動として考えられるのは、特産品やお土産の購入、食事や宿泊代、町内交通や観光施設の利用などです。これらをより消費拡大へつなげるためには、当町での滞在時間が長くなるようにすることが重要です。

昨年、再開通したJR只見線は、国内外を問わず人気のコンテンツです。町には、只見線のみならず炭酸温泉・炭酸水・霧幻峡の渡しをはじめとする魅力ある観光資源があり、また「沼沢湖水まつり」・「ごつつおまつり」などのイベントを開催しています。来町者がより当町を満喫できるよう、

只見線利用者をはじめとする観光客への2次交通対策として、レンタサイクル、観光タクシー、レンタカーなどのサービスを始めたほか、周遊マップを作成しています。

今後は、これらを活用し、より効果的な観光PRを展開する必要がありますと考えています。併せて不足する宿泊施設については、農泊や民泊等をはじめ、新たに宿泊業を起業する方々を積極的に支援しなければならぬと考えています。

問 宿泊業を起業する方々への具体的な支援策とは。

答 町長 新規の農泊・民泊の部分での支援はしています。既存の宿泊施設の増改築の部分を含めて研究して行きたい。

問 宿泊施設が全体的に不足していることは否め

ない。公設民営で町が宿泊施設を設置する。建て

る。積極的な考えは。

答 町長 具体的提案として受け止めさせていた

問② 交流人口拡大の施策について、目標達成のための計画書はできていますか。

答 町長 町総合計画では、観光の振興についての住民満足度、地方創生に係る総合戦略では、観光施設入込客数などで目標を定めておりますが、交流人口拡大に絞った計画はございません。

総合計画では、基本施策の一つとして「観光資源を活用した交流人口の拡大」を掲げ、その中で

(1) 観光拠点と受入環境の整備

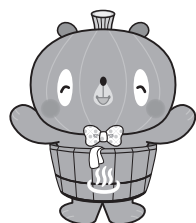
(2) JR只見線の利活用

(3) 情報の発信
(4) 滞在型観光の推進
を主要施策としており、

それぞれの施策に対応した事業を実施又は計画しておりますが、総合計画実施計画の見直し時には、目標達成に向けて、より来訪者のニーズにあった事業展開がされるよう努めて参ります。

問 観光とは、とりもおさずおもてなしだと思います。町を案内する方、体験を指導する方などが必要だと思います。ボランティアガイドの育成の考えは。

答 町長 育成の必要性は認識しております。町が進めるのか、町観光物産協会と連携しながら進めるのかは、協会と話し合いをして、進めて行きたいと考えています。



安藤雅朗議員の 一般質問



行財政改革について

町では、第五次金山町

総合計画を策定し、様々な事業、施策に取り組んでいます。限られた財源の中で、総合計画に基づく

施策・事業を着実に実行していくためには、各事務事業の適切な進行管理や中長期的な財政需要の把握のほか、町民との情報共有を図り、透明性の高い行政運営や説明責任を果たしていくことが重要と考えます。そこで伺

います。

問① 新地方公会計の導入の目的と効果についてどう考えているか。

答 町長 地方公共団体の会計は、「現金主義・単式簿記」方式を採用しており、1年間にどのような収入があり、その収入を何にいくら使ったのかを明らかにするのは優れていますが、町がどれだけの資産を持ち、どれくらいの負債があるのかといった情報を把握することが分かりにくい会計制度となっています。このため、「発生主義・複式簿記」といった企業会計的要素を取り入れることにより、資産・負債などの現金主義の会計制度では見えにくいコストを把握し、自治体の財政状況などを分かりやすく開示できるようにするとともに、資産・債務の適正管理や有効活用といった中・長期的な視点に立つ

第五次金山町総合計画（2021→2030）
令和3年4月に全戸に配布されています
是非、ご覧ください。

た自治体経営の推進に繋がるよう導入されたものと捉えております。
効果としては、地方公会計制度のもと統一的な基準で財務書類が開示されるため、財政の収支や資産・負債の状況が明確になり、町の財政状況の透明性が高くなり、健全性の向上にも繋がるものと考えています。

また、町における資産の状況が整理され、公共施設やインフラ施設の将来にわたっての更新費用の推計が可能になり、中長期的な財政運営における参考指標として活用できる点も一つの効果と言えると思います。

問② 各契約事務は適正に行われているか。
答 町長 法令に基づき各種契約を行っており、財務規則に沿った契約手続きを、適正に実施しております。

問③ 各事業施策の効果検証についてはどのようなように行われているのか。
答 町長 町の総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3段階で構成されています。

実施計画は、計画期間を3年間とし、基本計画に基づく各種事業について、事業概要、実施年度、事業費、財源内訳を示した計画書としているもので、毎年度、各種事業の効果検証を行い、町総合計画審議会に諮りながらローリングにより見直し作業を実施しております。

また、基本計画は、計画期間を5年間としており、実施した各事業施策の効果について、基本施策ごとに定めた成果目標を基に、その達成度合いなどを調査し、計画期間の満了する令和7年度に、町総合計画審議会において総合的に検証して頂くこととなります。

問④ 今後の情報発信の在り方についてどう考えているのか。
答 町長 広報紙やお知らせ版、ホームページにおいて、情報提供を行っており、今後も内容の充実や必要な情報の適正な公開に努めながら、積極的な発信を進めて参りたいと考えています。

また、SNSを活用した発信も考えられますので、その場合には、個人情報保護に十分留意しつつ、適切な情報発信に努め、町民の皆様とより多くの情報共有ができるよう対応して参りたいと考えています。

総合的に検証するー町長



令和8年開通見込みの国道289号（八十里越）
新潟県側第5橋梁（L＝337m）

横田正敏議員の 一般質問



審議会について

問① 法律で定められているものを除き、審査する目的が明確なものを原則として、設置当時の必要性が低下しているものや審議内容を施策に反映できないものは廃止すべきと考えるがどうか伺う。

答 町長 町には、法令等の定めによる審議会を始め、数多くの審議会が設置されており、審議会は、町の諮問機関として、審査する目的

に沿って、諮問の必要が生じた場合に開催するものですので、その必要性に応じて廃止すること、また、他の審議会と整理・統合することも、一つの手法として考えられます。審議会そのものの必要性の判断について、すぐに結論を出すことが難しい

点もあると感じますので、人口減少に伴う審議会の委員の選任も難しくなっている状況も踏まえながら、慎重に対応して行きたいと思います。

問② 特別職の職員で非常勤のものの報酬額を上げることは考えていない

か伺う。

答 町長 報酬は、条例において定めることとされており、地方自治法やその他の法令等に基づき、選任又は任命された各種委員等を対象に、その職務に応じて年額や日額等を規定しております。

は、消防団員を除き相当の期間、報酬額が据え置かれていた状況にあり、内容を精査の上、地域の実情や財政状況などを考慮し、適切な報酬額の見直しに向けて取組んで参りたいと考えます。

廃止・整理・統合は慎重に――町長

横田地域を歴史的資源を活かした観光地に

総合的な活性化を考える――町長

問① 新潟県三条市と福島県只見町をつなぐ国道289号「八十里越」は、あと数年で開通の見通しであるが、新潟方面から横田地域へ人を呼び込むことが必要と考えるがどうか伺う。

答 町長 国道289号「八十里越」は、令和8年に開通する見込みです。新潟県中部からのアクセスも向上するため、新たな観光客の入込みを見込めます。当町の西の玄関口となる滝沢・大塩地区には、温泉やおう穴、大塩炭酸井戸などの魅力ある観光資源があり、広くPRし横田地区はもとより、町内全域への観光客を誘導することが大切だと考えています。

問② 平成23年7月の新潟・福島豪雨災害前に「尾瀬街道横田宿」の整備計画があったが、河川整備

の状況を踏まえ今後の方針は。また、現在行われている中丸城遊歩道整備に伴う、駐車場、公衆トイレ等についての考えは。

答 町長 「尾瀬街道横田宿」予定箇所は、豪雨災害浸水区域であったことにより、事業を見合わせ、国道トイレ問題解消のため、大塩地区に公衆トイレを設置した経過があります。この問題については、国道289号の

開通、小学校の統合、横田地区の歴史的資源の活用など様々な課題と絡め、総合的に地区の活性化を考えていきたい。

また、中丸城跡遊歩道整備に伴う駐車場、トイレについては、整備する方向で考えており、駐車場は広さと共に具体的な場所の検討を進めて参ります。



災害時、防災拠点となる
「道の駅奥会津かねやま」周辺



黒川廣志議員の 一般質問

金山町国土強靱化計画について

順次進めて行くー町長

金山町国土強靱化地域計画策定後2年余が経過した。進捗状況を伺う。

問① 河川管理施設等の整備について。

答 町長 町では、準用河川や普通河川の護岸等施設のパトロールを随時行っています。その他の一級河川や砂防指定河川については、管理する県が通常のパトロールを行っており、町で異常箇所などを確認した場合は、

県に連絡し、早急な復旧を要望しています。

問② ハザードマップ更新時期は。

答 町長 平成29年3月に防災マップを作成し、全世帯に配布しました。

今年度更新を計画しており、年度内の配布に向けて取り組んで参ります。

問③ 浸水想定区域、土砂災害警戒区域の要配慮者、要配慮者利用施設等の避難確保計画は。

答 町長 要配慮者は、

約80名おり、浸水想定区域には6人、土砂災害警戒区域には33人の把握をしています。また、避難確保のための計画書は、

各福祉施設の事業者において作成しております。

問④ 地域防災に関する講習会等の開催は。

答 町長 「防災意識の向上」をテーマにまちづくり懇談会を行ったほか、

各総会などの折に、消防署職員や町職員による防災講話などを実施しております。

また、婦人消防クラブでは、消防団と連携し支部単位で初期消火訓練等を実施しており、今年度は、町の防災訓練を水沼地区を会場に消防団が中心となり実施する予定です。

問⑤ 「道の駅」防災拠点の進捗は。

答 町長 道の駅周辺には、避難所としての町民体育館、福祉避難所としての特別養護老人ホーム、老人福祉センターがあり、大規模災害時の防災拠点、

また、自衛隊等の防災関係機関の活動拠点としての利用が考えられます。広域避難における中継・休息施設などに利用できるように、防災用備蓄倉庫を整備し、備蓄品を整えています。

また、大規模災害時に防災拠点として有効活用できるよう今後は、周辺のWi-Fi環境を整えるなど順次拠点化を進めていきたいと考えています。

金山町地域の魅力向上応援事業について

前向きな取組みと評価するー町長

問 補助金上限30万円、補助率4/5の事業で、

特産品・自然・伝統文化・観光資源・交流・人材育成など6項目の事業について過去8年間で12の事業が実施されている。町

ではどう評価しているか。

答 町長 「金山町の住民自らによる地域の魅力ある資源を活かした町づくりを応援すること」を目的とした事業です。炭酸水や農産物を活用

して地域の活性化や観光振興、地域の祭りの復活、歴史的史実を広くPRするイベント、町内の渡し舟のPRや只見線の魅力を伝える事業などが実施されました。

これらの事業評価ですが、それぞれ実施された団体が、地域の資源を活用し、工夫を凝らし、地域の魅力向上に前向きな姿勢で取組まれたものと評価しております。



有効活用が望まれる
「若者交流センター あすなる館」
(太郎布地内)

加藤夕子議員の 一般質問



既存施設について

今年度から中川農村公園、奥会津水力館「みおり」の北側に子供が集える公園整備を計画されています。そこで伺います。

問① 県が募集してきたラッキー公園には手をあげられたのか伺います。

柳津町にできたラッキー公園にはラッキーがいるからと遠くから来てくれる親子連れもたくさんいます。

答 町長 募集当時、新

たな公園整備計画もなかったことの理由により応募を見送りました。

問② 町の総合計画の事業概要に「親子で自由に交流できる公園にしたい」との記載がありますが、どのような公園にしたいのか伺います。

答 町長 基本的な考え方に変わりはありません。現在、予定地所有者と交渉中です。全体的に芝生とし、樹木の伐採と植栽

などにより景観を生かし、敷地内には滑り台やブランコなどの遊具やベンチを設置し、子供はもとより多世代が楽しめる公園にしたいと考えています。

若者交流センターあすなる館についてです。地域振興検討会から民間事業者等への貸与により有効活用をはかられたいとの答申があり、すでに2年が経ちました。

答 町長 利用者募集の

具体的に進めて行くー町長

問① 答申を受け、町としての利活用・有効活用の方針は出されたのか。

答 町長 答申どおり「地域振興を目的とした民間事業者等への貸与」による有効活用をしようという考えに変わりはなく、改めて方針等の策定は行っていない。

問② 答申後2年間の町として利活用に向けた具体的な取り組みは。

答 町長 利用者募集のPRとして広報紙への掲載や町ホームページなどの活用をしましたが、実施に至りませんでした。今年1月に自治体コネクトの存在を知りました。「自治体が抱えている地域課題を見える化」し、その課題に関心のある民間企業がアドバイスや解決策を提案してくれるというものです。今後、あすなる館活用について登録し、具体的な取組へつなげられればと思います。

DX推進について

行政サービスの向上を図るー町長

問 Wi-Fi環境整備もDXに向けての第一歩だと思います。以前の一般質問の際に、会津美里町にならう形になると考えているとの答弁でしたが、進捗状況を伺います。

答 町長 今年度実施するWi-Fi環境整備事

業について現在、公募型プロポーザルにより受託候補者の特定を行う手続きをしております。

DX推進については、現在町では、マイナンバーカードを利用した転届を、来庁不要で行うことができます。また、本

年4月から町に納める税金の4種類は、スマートフォン決済アプリなどから納付可能になりました。

また、アナログの良さも重要だと認識しております。デジタルとアナログのそれぞれ良いところを大切にして、行政サ

ビスの向上を図りたいと思います。

加藤議員からは、この他に「町職員の働き方改革について」の質問がありました。





町営野球場から町営グラウンドゴルフ場へ再利用
芝生の管理が行き届いています。
是非、皆様利用してください。(大塩地内)



坂内議員の

一般質問

金山町の公共施設の活用を含めた今後のビジョンは

長寿命化を推進する ― 町長

問① 今までの公共施設整備に関して、反省や伸ばしている事例があれば伺います。

答 町長 利活用が図られて

いる施設は、例としてこぶし館は、道の駅かねやまの地域振興施設としての活用、若桐寮は、川口高校の寮の補完施設として高校の存続に大きく寄与しております。また、旧横田中学校や旧大塩野球場などは用途を農

産物加工所やグラウンドゴルフ場に変更し、実情に即した再利用が図られている事例ではないかと思えます。

一方、あすなろ館や農業実習館などは、十分な利活用が図られていない状況であり、今後の在り方について課題のある

公共施設となっておりま

す。工所整備は「ストック活用」としての良い例になると期待しています。公共施設の今後のビジョンを伺います。

問② 昨今、世界では「SDGs」時代において、

金山町の公共施設は、「ス

クラップアンドビルド」の方式がいまだに多い中、自然教育村会館や昨年整備した横田中学校跡の加

備した横田中学校跡の加

備した横田中学校跡の加

備した横田中学校跡の加

義務教育の再構築について

基本構想・基本方針により進める ― 教育長

問① 昨年12月定例議会

校で2回ずつ、保育所で

に伴い、少数での学校運

営を余儀なくされていま

で「義務教育の再構築」

についての質問をした際

に「保護者、地域住民の

意見を十分に聞きたい」

との答弁がありました。

話し合いの結果を踏まえ、

今後の方向性について

話し合いの結果を踏まえ、

答 教育長 12月議会後、

小学校就学児童・未就学

児童の保護者向けアンケ

ート調査の実施、教育委

員会委員全員参加で保護

者との話し合いを各小学

校で2回ずつ、保育所で

に伴い、少数での学校運

問② 人口減少や高齢化

の18年」事業などを通し

て教育費の負担軽減、学



奥高伸議員の 一般質問



国土調査事業の再開について

方針変更し事業を再開するー町長

今年度から国土調査事業が再開されます。平成

5年度田沢地区から始まり滝沢地区、土倉地区完了後、上横田地区に入り完了直前の平成20年に事業は中止された。町の高齢化、過疎が急激に進み、不在地主、所有者確認、境界確認の難しくなる土地が年々増加することが予想される中、私は、国土調査の重要性、早期再開の必要性を重ねて述べ

てきた。

問① 諸々の要因で実施できないとしてきた国土調査ができる環境となった要因は何か。

答 町長 今年度、上横田地区の調査を再開いたします。諸般の事情により調査途中で休止になっていた上横田第4地区を

再開するものです。様々な事由により実施を見送ってききましたが、県から上横田地区の事業再開の要請があり、改めて事業実施について内部調整や関係機関との調整を重ねた結果、事業再開に至ったものです。

問② 今後の国土調査の事業計画スケジュールは。

答 町長 今年度の調査再開を国土調査事業の方針変更と考えております。まずは、上横田第4地区の早期の認証に努めるとともに、並行して、次の調査予定地区である大塩地区の意向調査を行います。

マイナンバー実施に問題ないか

問題は確認されていないー町長

今、マイナンバーの漏洩やトラブルが多数発生し大きな社会問題となっている。町も町内各地区で「マイナンバーカード申請出張窓口」を開くなどカード発行を推進してきた。

問① 町におけるマイナンバーカードの発行、運用に問題はなかったか。

答 町長 現在、当町においてマイナンバーカードの発行及び運用にお

て問題は確認されておりませんし、町民からの問い合わせもございませんが、問題が発生した場合、国の指針を遵守し速やかに対応したいと考えています。

問② マイナンバーカードの発行状況、マイナポイントの取得状況、マイナポータルの利用状況は。

答 町長 令和5年5月末までの申請件数の総計

は1,491件で、実質的な交付率は82パーセントほどです。

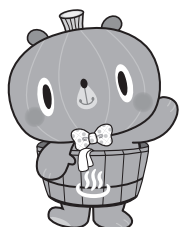
マイナポイントの取得状況は、役場窓口端末でのポイント取得のほか、個人でインターネットを通じてマイナポイントの取得ができるため正確な件数を把握することができません。

マイナポータルの現在の利用状況は、わずかではありますが出届にお

いてその利用実績がございました。

町としても国の指針に沿いながら、今後もマイナンバーカードの利便性など分かりやすく広報し、町民の皆さまに理解して頂けるよう努めて参ります。

事業中止が続いた国土調査事業が再開します
次の調査予定地区は大塩地区
(大塩：下屋敷地内)



友好都市埼玉県鴻巣市 議会議員との研修会報告

5月21日鴻巣市役所で「友好都市鴻巣市・羽生市・金山町との歴史的なゆかりについて」の講演会に両市町の議会議員が参加し、交流を深めてきました。



鴻巣市議会議員15名、金山町議会議員8名、23名の議員が真剣に聞き入っていました



あいさつする並木正年鴻巣市長

講演の内容

横田中丸城主・山ノ内氏勝(最後の城主)の孫、氏澄が寛永十年(1633年)に鴻巣市(旧吹上町)の榎戸の地に移り住み、かつての居城の地名「横田」を名乗って、代々眼科医を営んできました。後に横田家は羽生市に移り住み代々医者として300年以上続いたことから、金山町は昭和57年に羽生市と、平成7年に鴻巣市(当時、吹上町)と友好都市の提携を結ぶなど約400年にわたる歴史についての説明を受け、参加者がほとんど知らなかった歴史について学ぶことができました。特に興味深かったのは、

榎戸で初代氏澄から続く医師家系の11代目菊三郎の弟、五郎が岩槻の医者家系である丸山家へ婿養子に入り、現在の岩槻区の丸山総合病院の創立者となりました。その曾孫がTRFのダンサーSAMであり、平成30年11月のNHK総合の「ファミリーヒストリー」では横田中丸城についても放送されました。大変興味が沸く講演内容でした。

講師の加藤勉氏



鴻巣市在住・郷土史家旧吹上・鴻巣のロータリークラブによる金山町でのサマーキャンプを30回以上主宰。著書に「横田家の人びと」がある。

友好都市埼玉県 羽生市議会へ訪問



鴻巣市は全国に誇る「花のまち」です。「このす花まつり」の期間中であり馬室荒川河川敷のポピーの花畑を見学しました。

金山町においても、沼沢湖周辺に花いっぱい事業として、夏・秋用の花苗を購入し、交流も深めています。

5月22日羽生市議会を訪問し、松本敏夫議長、中島直樹副議長と意見交換を行いました。松本議長からは、沼沢湖水まつりに複数回参加されたこと、ひめますの状況についての質問がありました。中島副議長からは鴻巣市職員時代に来町したことや、只見線についての話題ができました。両市町で実施していた職員交流事業も話題となりました。また、羽生市さわやかマラソンへの町民参加が予定されており、五ノ井



常任委員会管外視察研修報告

総務文教常任委員会・産業建設常任委員会(合同)

7月11日～13日実施

水道事業について(岩手県矢巾町)

水道は人々の生活に必要不可欠でありながら、人口減少による「需要減」と「老朽化」という、2つの事態が同時進行しています。今後のサービス水準の維持と、施設整備について、研修を行いました。



研修の様子

矢巾町での住民参加について

- ・水道サポーターによる住民参加(現在52名)
- ・月1回ワークショップを開催。
- ・水道事業の諸問題を共有する。
- ←(合意形成)
- ・老朽化に伴う大更新・大規模改修の時期

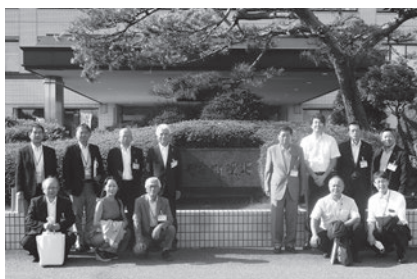
- ・人口減少社会の突入
- ・給水量の減少
- ・水道料金値上げの必要性など

水道事業についての広報戦略について

・広報、マンガ水道ビジョン、SNS、動画配信など



説明する古岡律司政策推進監



集合写真

他に、高速無線通信網の整備推進についての説明を受けました。

「一集落一農場」の実現をめざして(岩手県遠野市(農事組合法人 宮守川上流生産組合))

地域における農業生産の協業をはかることにより、生産性を向上させ組合員の共同の利益を増進させることを目的として活動している組合で、研修を行いました。



研修の様子

(当組合の概要は)

- ・3つの行政集落で形成
- ・農地の平均傾斜度1/40
- ・中山間地
- ・農家数182戸
- ・農地面積、水田約120ha

(活動内容は)

- ・「営農部」正職員8名
- ・農地の賃貸借などの土地の利用調整、農作業

の受託、自主営農など

・農業機械の共同購入、利用促進

「加工部」正職員7名

・農産物加工場、濁酒製造場の運営(どぶろく、甘酒、ジュース類、ジャム類、ほかに生産者からの加工作業を受託している。)

「営農部」「加工部」の売上 令和元年2・5億円。



説明する斎藤副組合長

- ・金山町の農業を見ると
- ・総農家数251戸うち、販売農家74戸、自給的農家177戸
- ・耕地面積298haうち、田耕地174ha、畑耕地124ha
- (農林課農政係資料より)

宮城県南三陸町震災遺構見学



震災遺構の一つ

庁舎内にいた職員や近隣住民は庁舎屋上に避難したそうですが、海拔12mの庁舎の屋上を超える15・5mの津波が押し寄せ43名の方が犠牲になりました。



献花の様子

今回の管外視察を今後の議員活動に活かしていきたいと考えております。



議会活動報告

■金山町農業委員会との意見交換会

6月23日、谷ヶ城雄司会長はじめ農業委員12名に出席いただき、農業委員会が独自調査した地域農業の維持に関する農業者への聞き取り調査の説明を受け、要望等について活発な意見交換会を行いました。

農業委員からの意見



あいさつする
谷ヶ城雄司会長

- 農地の集約化、集積化の推進について（農地中間管理機構の活用）
- 新規就農者の受け皿作りについて（担い手不足解消に向け）
- 二地域居住者、定年帰農者活用の地域農業担い手について
- 奥会津金山赤カボチャ不合格品の利用について（対応しないと生産者離れが進んでいく）



- 道の駅を利用した農産物販売促進について（生産者会の立ち上げ）など

多くの意見が出されましたが、農業従事者の高齢化による農業離れ、後継者不足（担い手不足）の解決が一番の課題でした。

■両沼地方町村議会議員大会に参加

7月7日、昭和村公民館において両沼地方町村の議会議員が一堂に会し、来賓（国会・県会議員、7町村長、関係機関関係者）多数の出席を得て開催されました。

五ノ井議長、両沼地方町村議会議長会長に就任

5月12日開催の臨時総会で新会長に就きました。任期は令和6年4月6日まで。

（両沼地方は会津坂下町・湯川村・柳津町・会津美里町・三島町・昭和村・金山町の7町村です。）



両沼地方町村議会議長会として
あいさつする五ノ井義一議長

町議会提出、提案理由の説明（横田正敏議員）

金山町議会からの提出議題は次のとおりです。採択されました。

- ① 只見川圏域河川整備の計画の速やかな実施について



①大会に出席の来賓の皆様
小熊慎司、菅家一郎、森まさこ、星北斗の各国会議員
小林昭一、山内長の各県議員
福島県、両沼7町村の各町村長
ほか多くの出席をいただきました

提出議題を説明する横田議員➡



- ② 一般県道布沢横田線の整備促進について
（冬季交通不能区間約7kmの早期解消、松坂峠のトンネル化整備を要望）
- ③ 一般県道小栗山宮下線の整備促進について
（落石対策工事で令和7年5月頃まで通行止めのため、早期の工事を要望）

■福島県町村議会議長会表彰2名が受賞

この度、福島県町村議会議長会から2名が功労者として表彰されました。議会議員在職11年以上、議会活動等を通じ地方自治の振興発展に尽力されてきた功績によるものです。

黒川廣志 副議長（右側）



横田正敏議員（右側）





窓 地の声を聞け

あるメディアの世論調査では「地球環境が病んでいる。」と感ずる人は7割を超えたと伝えている。地球温暖化現象だ。今年も全国各地で梅雨前線の停滞による豪雨により、犠牲者が出ている。化石燃料に依存した経済活動が地球の生態系を破壊し、温暖化したのが最大の原因だ。

世界的規模で、化学肥料、農薬の大量散布などにより有機物は半減、土壌は荒れ、熱波による干ばつで農産物に大打撃を受けている。海では乱獲により漁獲量が減少し、サンゴ礁も死滅しつつある。北極・南極の氷河の融解で海面が上昇し、海岸に面した地域は、更に高い防波堤を築かなければ水没しかねない。森は乾燥し、世界各地で大規模な森林火災が発生し、人的被害もあり、二酸化炭素の放出で温暖化に拍車をかけている。黒焦げになったコアラやカンガルーの記憶が生々しい。我が国においても、局地的な集中豪雨による土砂崩落、河川の氾濫による災害は、年を追うごとに増加傾向を示している。

階段状にダムが設置されている金山町は、昭和44年災害、平成23年新潟・福島豪雨によるダム災害等々幾度となく洪水、土砂災害に見舞われた。幾つもの国道橋、町道橋、JR橋梁が落橋し、波を打つ只見川、家屋・農地の洪水被害は想像だになかった。令和元年台風19号で南会津町の田代山山腹崩落で73万㎡余の土砂が流出し、只見川に流入し、ダムの土砂が更に増え続け川底は浅くなっている。ダムの改造と総合土砂管理が喫緊の課題だ。

今に生きる者にとって「成長」「国内総生産（GDP）」至上主義なのか、全ての生き物が共生できる地球を目指すのかが問われている。地の声に耳を傾け成長至上主義から脱却し、緑豊かな地球を取り戻し、次代に繋ぐことが今に生きる者の責務だ。いつまでも安全で安心して暮らせる金山町を目指したい。

（黒川廣志）

町村議会広報研修会に参加

6月27日、福島市のとうほうみんなの文化センターで開催され、議会だより編集特別委員が参加しました。「町民の皆様には伝わる議会報の企画と編集」など研修しました。議会だよりの読者の皆様からのご意見をお待ちしております。

金山町議会事務局 ☎0241-54-5341
FAX 0241-54-5345



研修会参加の編集委員

ごあんない

次回の定例会は、9月8日ごろ開会の予定です。
一般質問は9月11日ごろからとなります。
「開かれた議会」を目指しておりますので、皆様お気軽に傍聴においで下さい。
○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕 議長 五ノ井義一
〔編集委員〕 委員長 黒川 廣志
副委員長 安藤 雅朗
委員 坂内 夕子
加藤 夕子
次回、金山町議会だより第223号は、11月上旬ごろ発行の予定です。